

2025年度 まつやま大手町保育所 安全訓練計画														
目標		子供らの生命の保持と健やかな生活の基本を保護し、 自ら安全な生活を作り出す力を養う。			ねらい	・安全や防災について保育士と一緒に経験する。 ・園内外での生活の仕方を実際に体験し、安全に過ごす。 ・いろいろな訓練を通して自分の身を守る事、また大人に守ってもらう事を 知る。				消火器 確認者	年度内通して必要な訓練を選択 ↓園内職員研修を実施			
非常災害					生活安全					毎月	危機管理			
園児訓練			管理		園児訓練			管理			職員訓練	管理		
4月	火災	・火災発生の際ベルが鳴ったらドアを開き階段の柵を開けに行く。子どもたちを保育士の元を集めるようしらせる。 ・保育士のところへ集合後、避難経路②(エレベーター横階段)経由で新聞社前駐車場に避難する。 ・使えるおんぶ紐の数を確認しておく。 ・今年度は新しく入った保育士が多いので、5階会議室の場所やその他避難ルートを共有する。			・園舎点検 ・防災ヘルメット非常ベル・防災ヘルメットの設置場所及び使用方法確認 ・消火器・警報機の確認 ・第一集合場所と第二避難場所の確認とお知らせ配布		新しい(春の)生活	・新しい生活になれ、機嫌よく過ごす。 ・道路や屋外遊技場に出るまでの歩き方について話を聞き、保育士と一緒に経験する。 ・天気の良い日は保育士と一緒に手を繋いだり、避難車に乗ったりして安全に散歩に出かける。		ヒヤリハットの実施		安全訓練について	確認作業 ・避難経路 ・消火器 ・AED設置場所	・新しく入った職員含めてに左記一緒に確認してもらう ・今年度の安全訓練についての話し合い
5月	風水害	・台風・ゲリラ豪雨・内水・外水氾濫・土砂災害等の自然災害の時の安全な避難の仕方を知る。 ・豪雨による石手川氾濫を想定。 ・氾濫時は保育所内に待機または5階会議室に避難となる。 ・災害伝言ダイヤルの確認			緊急確認整理 引き渡し訓練表確認 伝言ダイヤル及びひめシェルターのアプリのお知らせ配布		不審者	・合図で、保育士の所に集合する。 ※その際の職員の動きと役割分担の確認				重大事故	子どもの意識がなくなった時の対応 心肺蘇生の仕方	・重大事故の対応と役割分担表の作成 ・睡眠チェック表の書き方、実施方法の再確認 ・AEDの設置場所の確認
6月	地震	・午前中のおやつ後の地震を想定。 ・頭を保護し、机の下に避難するように声をかける。 ・机の下に入りきらない子は布団などを使い、子どもに覆いかぶさって守るようにする。 ・落ち着いたら避難経路に障害物などの問題がないか確認し、避難経路①(屋外遊技場からの非常階段)経由で新聞社前駐車場に避難する。			防災の備品と防災用品・備蓄食品の確認(全体) 引き渡し訓練確認 災害伝言ダイヤル・ひめシェルター登録再確認		交通安全	・雨の日の安全について ・路切や横断歩道を保育士と一緒に安全に渡る。				午睡チェック	午睡チェックについて	・午睡チェックの意味 ・チェックの方法
7月	地震・火災	・頭を保護し、机・マットの下に避難するように声をかける。(防災ヘルメットの着用) ・落ち着いたら避難経路①で屋外に避難する。(押さない・走らない・しゃべらない・戻らない)			防災の備品確認 備蓄食品確認 避難袋の確認		夏の生活	・暑さに負けず元気に過ごす ・園だよりにて保護者へ啓蒙 ・規則正しい生活リズムで過ごし、水分補給、衣服調節をこまめに行う。 ・プール・水遊び時の注意		コドモンアプリによる登降園管理		アレルギー	アナフィキラシーショックを起こした時の対応	・事故時等の各マニュアルの確認 アレルギー児の再確認
8月	大地震	・頭を保護し、机の下に避難するように声をかける。(防災頭巾の着用) ・落ち着いたら経路に落下物等がないか確認。避難経路②(エレベーター横階段)経由で新聞社ビル前に避難する。(押さない・走らない・しゃべらない・戻らない) ・余震が来ることを想定し、避難中に再度揺れが来た場合すぐにダンゴムシのポーズをとり、子どもを守るように低い位置で体制をとる。おさまったら経路に問題がないか再確認し、避難を再開する。			引き渡し訓練(お迎え時)		不審者	・保育士の指示をよく聞き、保育士と一緒に避難する。				水の事故	水で濡れた時	水で濡れた時
9月	大災害	・大きな災害を想定して、保護者に災害伝言ダイヤルの確認を行ってもらう。 ・保護者以外の人が迎えにくる場合の確認→引き渡しカードまたは身分証の提示、確認をしてから引き渡す。			保護者向け災害伝言ダイヤルの確認(災害週間に伴い) 備蓄食品の確認		秋の生活	・気温の寒暖差に留意し、健康状態に合わせ体調を整え、元気に過ごす。 ・気温の変化や体調に応じて衣服の調節を行う。 ・しっかりと歩いたり身体を動かしたりして体力を作る。				熱中症	熱中症をおこしたときの対応	・熱中症と輻射熱時の対応確認
10月	火災	・午睡前後の火災を想定。 ・落ち着いたらCATV5階会議室に避難する。(押さない・走らない・しゃべらない・戻らない)			消火器・非常ベル確認 通報訓練(CATV総務へ) 防災用具を使って		交通安全	・公共機関を利用し、その際のマナーを知る。 ・横断歩道の渡り方や信号の見方を知る。		・戸外での遊び、遊びの場、遊びの動線への配慮 ・園外保育を利用し、信号機の見方、道路の歩き方等の体験的な指導 ・子どもの動線考えた保育室の安全な遊び場の工夫を考える。 ・備品の点検、修理依頼		けいれん	けいれんを起こした時	マニュアルの確認 ・てんかん、熱性けいれんについての勉強会
11月	地震	・夕方園庭で遊んでいる時を想定。 ・保育士の元集まって、ダンゴムシのポーズをとる。(保育士はダンゴムシのポーズをとっている子どもを守るように低い位置で体制をとる。) ・廊下に子どもが残っていないか確認する。 ・おやつやおむつ替え等で室内にいる時は机の下に入り頭を守る。落ち着いたら園庭に集まる。			情報の伝え方の確認 内水氾濫・外水氾濫の実情 土砂災害、園の周りの危険なものの確認		交通安全	・園外保育等で園外に出た時の歩き方や公共機関でのマナーを保育士に教えてもらう。				異物混入	給食に異物が子どものお皿に混入した時	・異物混入対応マニュアルに従い研修
12月	大地震	・南海トラフ大地震を想定。頭を保護し、机の下に避難するように声をかける。(防災頭巾の着用) ・強い揺れが長時間(30秒以上)続くことを想定し、おさまるまでは頭を守る姿勢を保つ。落ち着いたら人数確認をし、避難経路②(エレベーター横階段)経由で城山公園へ避難する。 ・避難中に余震がきた場合はその場ですぐにダンゴムシのポーズをとり、子どもを守るように低い位置で体制をとる。おさまったら経路に問題がないか再確認し、避難を再開する。			人数が少ない時の役割分担の確認 物が散乱して歩けない場合の避難		冬の生活	・寒さに負けず、元気に過ごす。 ・規則正しい生活をする。 ・冬の感染症や気温の変化に留意し、健康で快適に過ごせるようにする。 ・寒い日の歩き方を保育士に教えてもらう。				感染症	インフルエンザ等の感染症が流行した時	・インフルエンザや感染力の強い感染症が流行した時の流れ及び保育室の感染予防 ・冬の感染症について
1月	弾道ミサイル	・頭を保護し、机・マットの下に避難するように声をかける。(防災ヘルメットの着用) ・落ち着いたら人数確認をし、安全な場所に移動(トイレ) ・ラジオやインターネットや災害情報等で情報を把握し、関係各所との連携をとりながら待機する。 ・連絡がとれない子の対応等、職員の役割分担の確認			弾道ミサイル発射の場合の避難の仕方の徹底 子どもの持ち物確認 引き渡し訓練の実施(降園時)						誤嚥	子どもの意識がなくなった時	・重大事故の対応マニュアル ・重大事故になった場合、国の報告書での研修	
2月	火災	抜き打ちで訓練を実施			防災の備品確認 備蓄食品確認 避難袋の確認 避難経路の確認		交通安全	・簡単な標識を保育士と一緒に見ながら安全に散歩をする。		・積雪時の送迎の安全について ・年末年始の家庭での安全な過ごし方 ・暗くなってからの降園の安全周知		感染症	嘔吐下痢になった時	・食中毒及び感染症の対応及び確認 ・予防接種・冬の感染症について勉強会
3月	地震	抜き打ちで訓練を実施			今年度の振り返りと来年度の課題について話し合う		不審者	(総合訓練) いつでもどこにいても保育士の指示や誘導に従って敏速に避難する。		↓	全般	1年、危機管理についての振り返り	・役割分担表での動きの確認徹底 ・1年間を振り返って	